

平成 20 年 5 月 15 日

各 位

会社名 国際石油開発帝石ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 黒田 直樹
コード番号 1605 東証第 1 部
問い合わせ先 広報・IR エグゼクティブ・マネージャー 宮本 修平
電話番号 03-5448-0205

西豪州でのプロジェクト権益の取得について
～イクシスガス・コンデンセート田近傍 2 鉱区権益の新規獲得～

当社の子会社インペックス西豪州ブラウズ石油株式会社が、2007 年オーストラリア公開入札において、オーストラリア北西大陸棚沖合 WA-410-P 鉱区および WA-411-P 鉱区の 2 鉱区の権益を取得いたしましたので、お知らせいたします。

今回取得した WA-410-P 鉱区 (374km²) および WA-411-P 鉱区 (2,323km²) は、当社が TOTAL 社とともに、世界的規模の LNG (含 LPG 及びコンデンセート) プロジェクトとして、鋭意開発を推進している WA-285-P 鉱区イクシスガス・コンデンセート田^(注)の北西部および西部近傍に位置しており、今後、両鉱区での探鉱作業により、相当量の原油・天然ガスが発見された場合には、イクシスガス・コンデンセート田の開発との相乗効果など、同地域で展開する当社事業の更なる拡大が期待されます。

なお、両鉱区における権益比率は、WA-410-P 鉱区では Santos 社 (オペレーター) 30%、Chevron 社 50% およびインペックス西豪州ブラウズ石油(株)20%、WA-411-P 鉱区では Santos 社 (オペレーター) 63.6299%、インペックス西豪州ブラウズ石油(株) 26.6064% および Beach 社 9.7637% となっております。

当社は今後とも、オーストラリア連邦における当社グループの事業展開の拡大に積極的に取り組み、更なる石油・天然ガス資産の拡充を図るよう努力してまいります。

以上

(注) イクシスガス・コンデンセート田開発事業

インペックス西豪州ブラウズ石油(株)は、100%の権益を保有するオペレーターとして、2000 年に西オーストラリア沖合の WA-285-P 鉱区でイクシスガス・コンデンセート田を発見し、2006 年に 24%の権益を譲渡した TOTAL 社とともに、2013 年下期または 2014 年上期から液化天然ガス (LNG) 及びコンデンセート・LPG を生産する計画を検討しております。初期生産段階での LNG・LPG の生産・販売量は、年間 800 万トン超の LNG および約 160 万トンの LPG を予定しておりますが、将来のマーケット状況、天然ガスの埋蔵量等に照らして追加の LNG・LPG の生産・販売について決定する予定です。また、ピーク時およそ日産 10 万バレルのコンデンセートの産出を見込んでおります。

